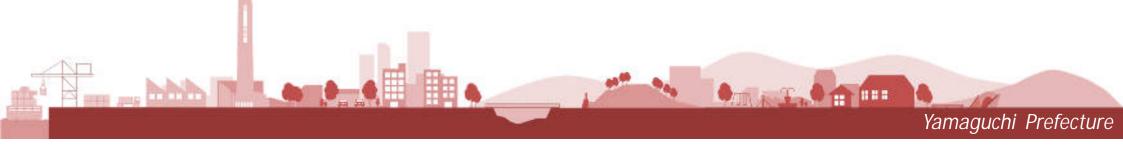






# 山口県土木建築部発注工事における 建設キャリアアップシステム活用工事について

令和6年11月 山口県 土木建築部 技術管理課 建設DX推進班



# CCUS(建設キャリアアップシステム)とは



- ・「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格や現場での就業履歴等を登録・蓄積し、技能・ 経験が客観的に評価され、技能者の適切な処遇につなげる仕組み
- ・活用により、 若い世代がキャリアパスの見通しをもてる、 技能・経験に応じて処遇を改善する、 技能者を雇用し育成する企業が伸びていける

キャリアパス:企業内で社員が目標とするポストや職務に就くために必要な業務経験やルートといった道筋

#### <建設キャリアアップシステムの概要>

※システム運営: (一財)建設業振興基金







### 山口県CCUS活用工事実施要領



### 対象工事

・全ての工事(工場製作のみの工事を除く) 下請けの無い、元請だけの工事も要領の対象になる

### 適用基準日

・令和6年12月1日以降、入札公告又は指名通知する工事に適用する。 上記以前の工事については、受注者の判断により、新旧どちらの要領も適用できることとする。 ただし、新要領を適用する場合は、計測日について下記を条件とする。

### 【令和6年12月1日以降も工期が約6ヶ月以上ある場合】

・新しい要領に定める方法で計測日を設定すること。 計測日3回以上

### 【令和6年12月1日以降に工期が約6ヶ月未満の場合】

・残工期の日数に関係なく、<mark>一律2回計測日を設ける</mark>

#### 発注方式

・受注者希望型

### 費用負担

・CCUS活用に関する費用(カードリーダー等購入・設置費、現場利用料等)は受注者負担

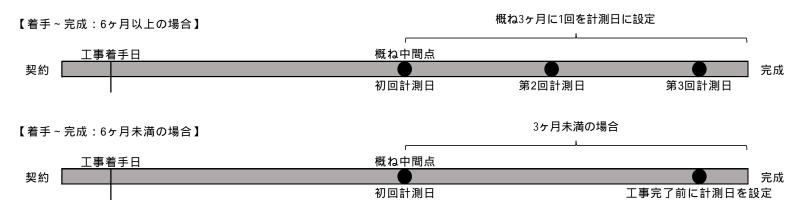
### 山口県CCUS活用工事実施要領



### 計測日の設定

・計測日は、受発注者の協議により適宜設定することとするが、<mark>工事着手日</mark>から概ね工期の中間を初回とし、以降概ね3ヶ月に1回の頻度で設定することを基本とする。ただし、初回の計測から3ヶ月未満で工事が完了する場合は、工事完成前に計測日を1回設けることとする。

【着手〜完成:6ヶ月以上】<mark>計測日3回以上</mark> 【着手〜完成:6ヶ月未満】<u>計測日2回以上</u>



### 成績評点での加点

・工事成績評点要領の対象工事の場合、全ての基準(施工体制登録技能者率等)の達成が確認された場合は、創意工夫にて1点加点。

受注者の都合によりCCUSを活用しない場合、または活用を希望したが基準を達成できなかった場合であっても、減点は行わない。

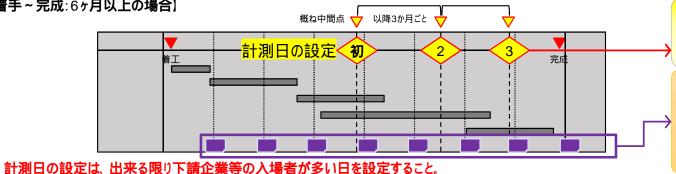
## 実施内容及び達成基準等



### • 実施内容と実施時期

実施内容	達成基準	確認(提出·提示)書類	確認資料( <mark>提出·提示)</mark>
施工体制技 能者登録(施 工体制登録技能 者率の算定) (計測日の平均値)	【土木系工事】 施工体制登録技能者率 60%以上 【営繕系工事】 施工体制登録技能者率 30%以上	施工体制登録技能者率(%) = *1施工体制登録技能者数	・【提示】計測日作業者リスト (A) ・【提出】総括表(計測日毎の結果をプロットしていく)(B) ・【提示】CCUS施工体制登録技能者一覧(C) ・【提示】作業員名簿(D) ・【提示】 工事安全日誌等or KY実施活動表
<b>就業履歴情</b> <b>報登録</b> (全工事期間)	カードリーダー等を設置し、就業履歴情報の <b>蓄積環境を</b> カードリーダー設置(概ね工事着手日)から工事完成までの期間(以下「全工事期間」という)維持したことを確認。	· <b>就業履歴月別カレンダー</b> (全工事期間の各月分)	·【 <mark>提示</mark> 】就業履歴月別カレンダー (E)

#### 【着手~完成:6ヶ月以上の場合】



#### 複数の計測日で計測

- ・6ヶ月以上は3回以上の計測
- ・6ヶ月未満は最低2回の計測

「就業履歴月別カレンダー」 を毎月確認(元請) 提示は計測日毎に当該月ま での履歴を提示

## 実施内容確認資料作成手順



前日の工事打合せ結果から 「計測日作業者リスト(A)」の作成

CCUS登録事業者の「 施工体制<mark>登録技能者</mark>一覧(C) 」の帳票出力

「施工体制<mark>登録技能者</mark>一覧(C) 」に<u>当日作業者をハイライトして集計</u>

「作業員名簿(D)」の出力、<u>当日作業者をハイライト</u>、CCUS未登録者が作業した場合はエクセル上で追記して集計

CCUS未登録事業者は既提出の作業員名簿をコピー、<u>当日作業者をハイライト</u>、<mark>不足者は</mark> 追記して集計

「計測日総括表(B)」に上記<mark>集計結果を入力</mark>

計測日に作業した事業者・技能者を証明する根拠資料を準備

「就業履歴月別カレンダー(E)」は計測日翌日に出力

## 「計測日作業者リスト(A)」の作成



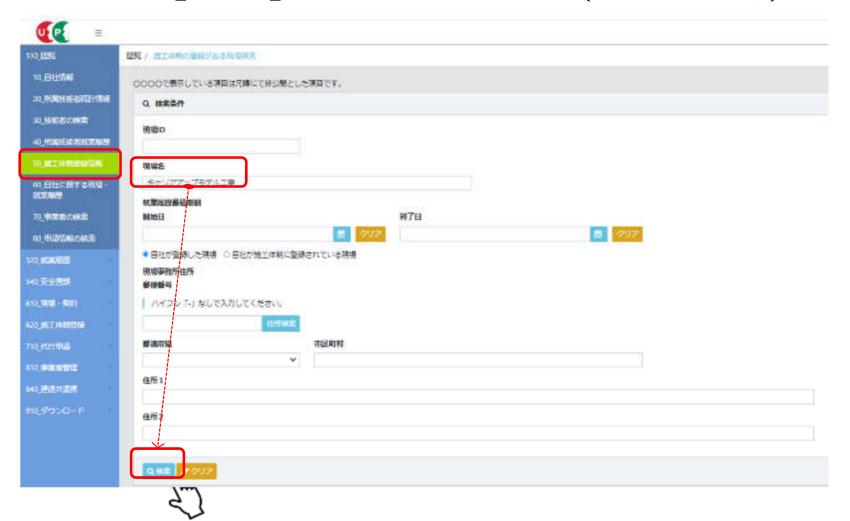
● 前日の打合せ等から計測日に作業した事業者・技能者をリストアップする 任意様式



# -1「施工体制登録技能者一覧(C)の出力手順



• ログインメニュー:510\_閲覧-50\_施工体制登録 から現場を指定(部分入力して検索)



## 



- 下部にヒットした現場から対象現場を「選択」して
- 「施工体制登録事業者」をクリック



### 



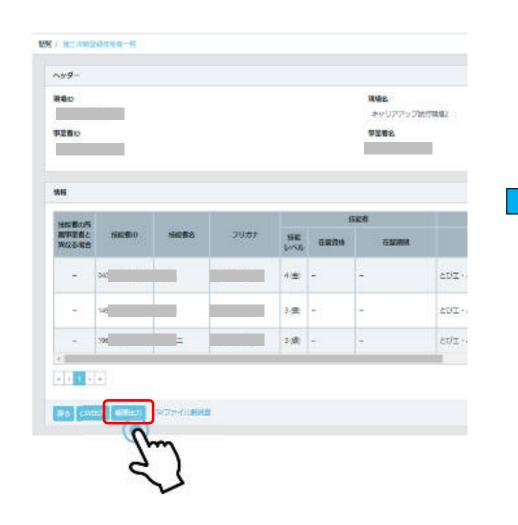
• 「施工体制登録事業者一覧」で表示される事業者ごとにIDをクリックすると、

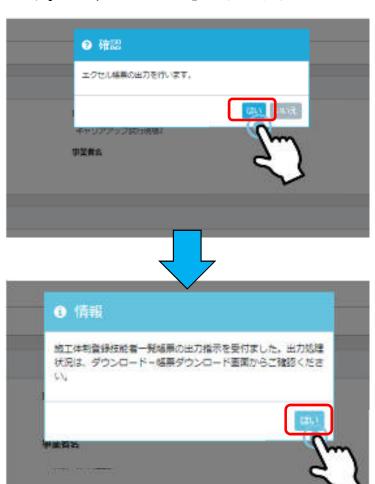
ヘッダー								
現場ID				現場名				
				キャリアアップ	試行現場2			
情報								
	DH NA	法人・個人		AL-WALL STREET				
MANAGE COLUMN STATE OF THE PARTY OF THE PART	事業者名	区分	事業者ID	一次下語事業者	the last of the			
次数 事業者ID			- 神楽者ID	事業者名	事業者!!			
次数 事業者ID								
次数 事業者ID — 23455780 4		法人	-	-	12			
次数 事業者ID - 2345578004		法人			12			
次数 事業者ID - 23455780 * * 1 * 3 * 3 * 3 * 3 * 3 * 3 * 3 * 3 *		法人			12			

## -4「施工体制登録技能者一覧(C)」の出力手順 **公**山口県



- 当該事業者の「施工体制登録技能者一覧」が表示されるので、
- 左下の「帳票出力」ボタンをクリック エクセル帳票の出力を行います。と出たら「はい」をクリック

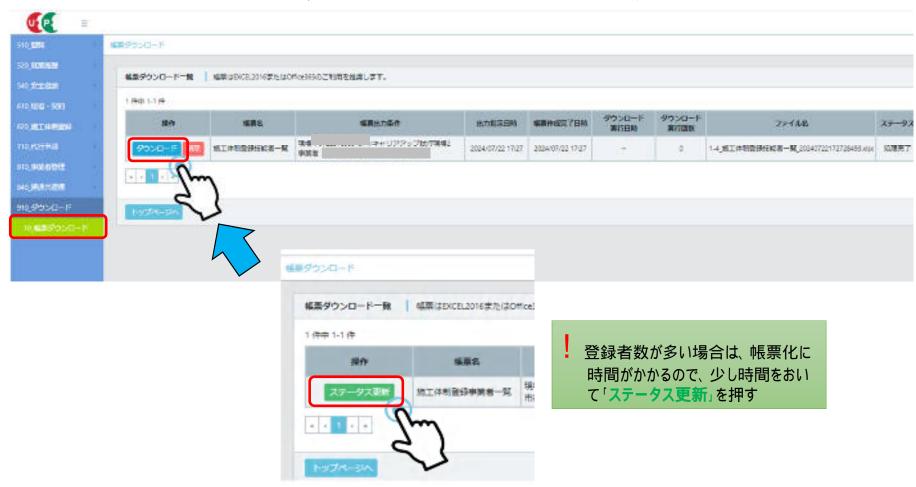




### -5「施工体制登録技能者一覧(C)」の出力手順



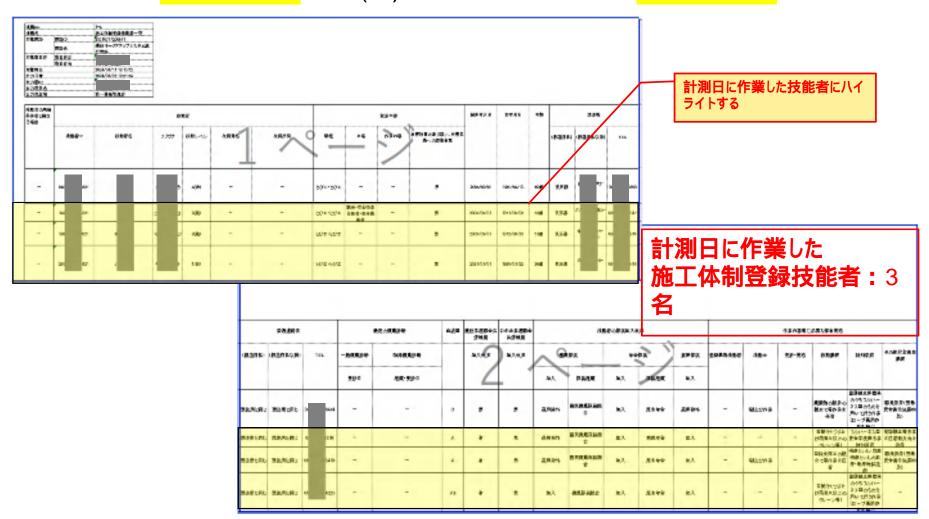
- メニュー:910\_ダウンロード/10\_帳票ダウンロード
- 「ダウンロード」をクリックるすると、PCのダウンロードフォルダにエクセル帳票がダウンロードされる



## 「施工体制登録技能者一覧(C)」



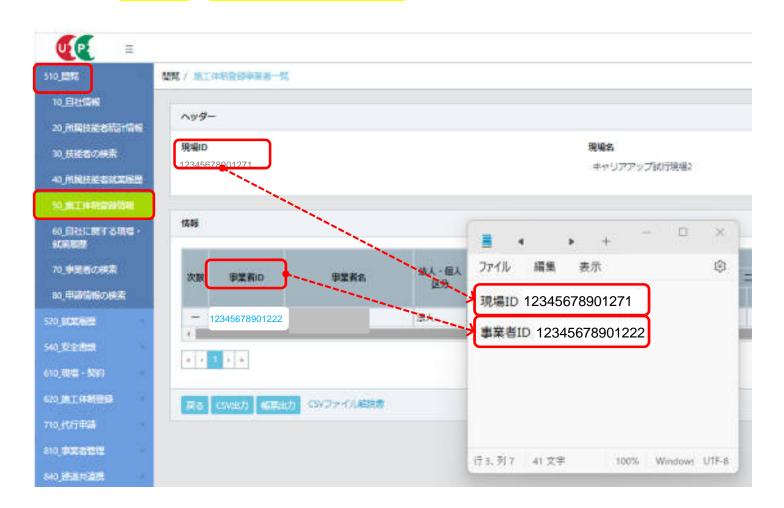
### 「施工体制<mark>登録技能者</mark>一覧(C)」に当日作業者を<mark>ハイライト</mark>して集計



## -1「作業員名簿(D)」の出力手順



• で行った、ログインメニュー:510\_閲覧-50\_施工体制登録 から 「施工体制登録事業者一覧」を表示し、現場IDと出力する事業者のIDをメモ帳にコピー



## -2「作業員名簿(D)」の出力手順



ログインメニュー:540\_安全書類-70作業員名簿 から 現場ID、事業者IDをコピペして「検索」



## -3「作業員名簿(D)」の出力手順



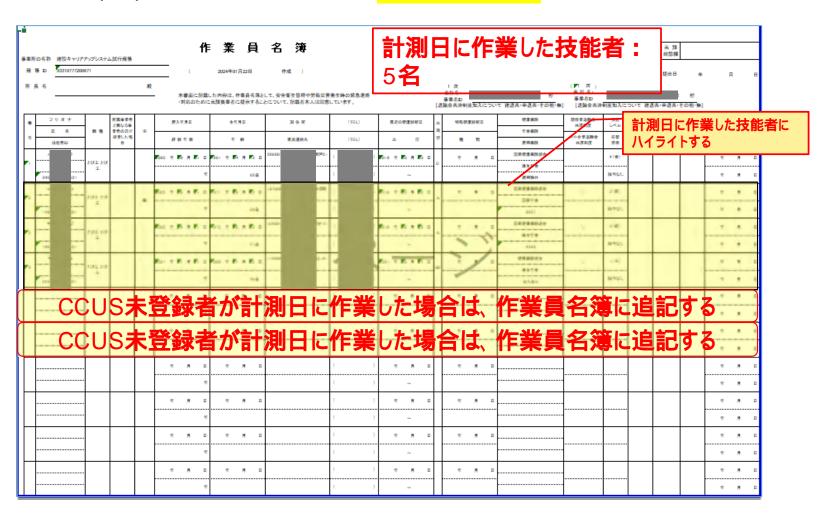
- 当該事業者がヒットしたら「帳票出力」をクリック
- 以降は910\_ダウンロード 10\_帳票ダウンロード から帳票出力手順に同じ



## -4「作業員名簿(D)」の出力手順



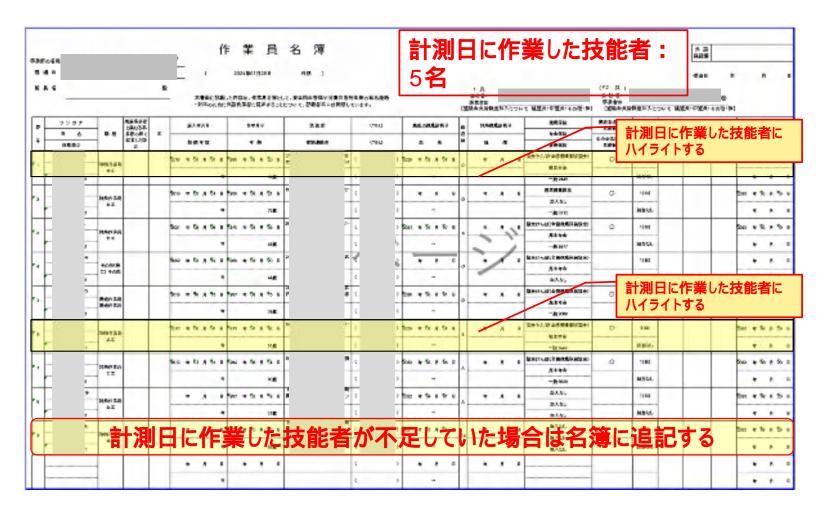
### 作業員名簿(D)に当日作業者を<mark>ハイライト</mark>し集計



### CCUS未登録事業者の作業員名簿(D)



- CCUS未登録事業者については、既に発注者に提出した作業員名簿を用いて計測日に作業した技能者をハイライトし集計。
- 計測日に作業した技能者が名簿に無い場合は追記する。



## 「計測日総括表(B)」に上記集計結果を入力



・様式は、技術管理課HPに掲載 (<a href="https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/127/194292.html">https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/127/194292.html</a>)

	開名 : 期 :	9 V 1000 1111	[000000000000000000000000000000000000	-	_		( <u>4</u> )	97) —e5	中止期	間:	令和	C	D D	和车	月日														
		** * #	4 19									集	集											48	0 # O A	08 18			
No. 工作内		下肺企業			対像 の 有無 注別	100	日(全和)	эводо	(B)	28	B(440)	100 100 10	赴	計測結果 3回日(全位0年0月0日)				4回日(4100年0月0日)			5回日(440年0月0日)			08)	+				
						当日亦無有無 ·人数					製御機 R				(日作業有無 ) ・人数		WI GROTING		运用作品有無 ·人款		Mitted Si	当日作業有標 -人名		MICHIES TO		情元			
	工事内容	<b>→ *</b>	= *	主汝	0:有	O:要 41個	会議人 会にO	対象数1   数数数   数数数   数数(人)	作業員 名簿章 法確款 (人)	0:春	作業人 液(A)	うち建工 を報念 記書量 済み (人)	作業最 名場登 透着数 (人)		作業人	計画第三 排列技 報報量 (表表 (人)	作用品 名為登 法者登 (人)	O:#	他素人 素(A.)	545年工 後期間 取得量 済み (人)	作業員 名簿登 議事款 (人)	O:森 名/曹	作業人業のの	付款禁工 付割技 能差量 済み (人)	作馬森 名灣堡 級權款 (人)				
1	001	(4)(ご可能数 [0000000000000000]			0	ó	1	2	3	0	5	1	6	0	6	4	5	0	5	5	5								
2	OCI		(40000000000)		0	0	1	7	1	0	2	1.	2	0	2	2	2	0	3	2	8	Oza	間に削りを	- 月日を					
3	OOI		(株)00強数		0	8				×				×	-			×				gled	伝統のさる設定する でであ下級の注意会は、本工等の追加す						
4	001	CCU5井は19。 事業計							1	Ź.			G	~	3/	.5	5	0	5	5	8	記仕機會、実施要額をよく読むこと 係施工体系国にはい下野企業を入力する							
5	ooı	-	(M)009B		0	×	_			×				0	8	0	3	×				FBS	位計劃日を決定後、計劃日本日付、入5 下對企業、入場技術者数、加工体則技術						
6	001	(#100 last [000000000000000]			0	*:				×				ж				0	8	5	6	.6	・電量振声が圧縮者数等を入力して報告する も						
7	oci	(4)00年度			0	ж				×				×				0	3	1	8	更して	億下級の重無状況は、計画日の状況を表 変している。 億七下の最終終更は、計画業施面をはよ り速度形式を調整し、実施したやれぞれ						
8	00I	(他)(00 ) (自)			0	ж				×				ж				0	- 2	-	2	9.83							
9	oci	omodite:			×	*:				ж				×				×				心里的	の屋城平均かを確認すること						
変に	計劃日 /		計判日の会計値 計測日の登録率			2.		3	3	3	12	4	12	8	15	11	15	ŧ	24	18	26	0	- 1	0	0				
15 E	II est					2500				30,00			71.38	71.38				75.0%											
	9811 H. R.	は初時には根書J及び「建設キャリアアップシステム活用モテル工業」 現式会開始と消えし、有限は工事者ずのから最近工事者が終を利息。の第25月の 下請と契約後速やかに				1日小秋文						78018	7的C1BIX 178. 转		報 在 平均線工体制造 管率		果料查問 維扶能 51.78			日標D	連成 日標	日標金	地农	<b>泰长出等</b>	is a				
		追記していく				去の履歴が確認でき							果						目標の				最低	_					

### 根拠資料:計測日に作業した事業者・技能者を証明する帳票類

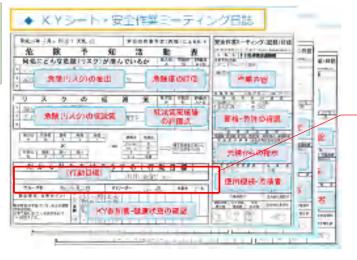


### 根拠資料は日常現場で使用している帳票を活用

根拠資料A: <mark>工事安全日誌</mark> 等計測日作業あり事業者を証 明する



根拠資料B:KY実施活動表 計測日の作業者数を証明する (作業あり事業者分)



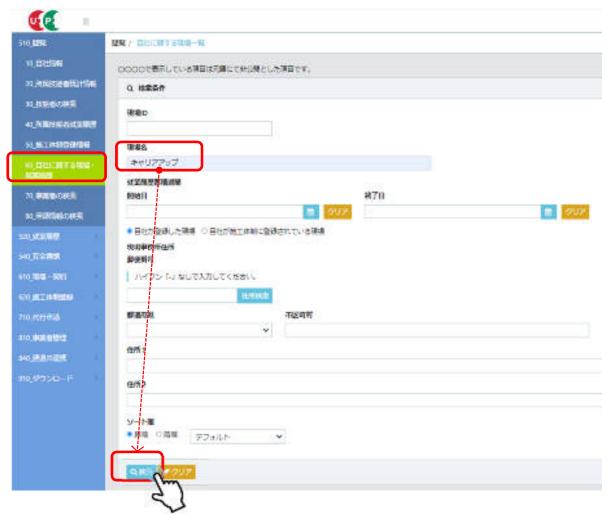


<mark>協力会社ごと:</mark> KY活動に参加した <mark>技能者のサイン</mark> 出面証明 KY活動を行う事業者・チーム単位ごとのシートを集計することで、当日入場した技能者数がわかる。

## 



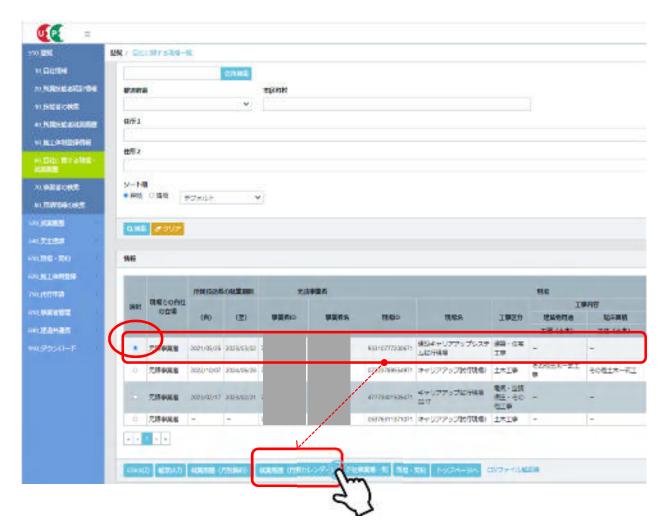
• ログインメニュー: 510\_閲覧-60\_自社に関する現場・就業履歴 から現場を指定(部分 入力して検索)



# -2「就業履歴月別カレンダー(E)」の出力手順



- 下部にヒットした現場から対象現場にチェックを入れ、
- 「就業履歴(月別カレンダー)」をクリック



## -3「就業履歴月別カレンダー(E)」の出力手順





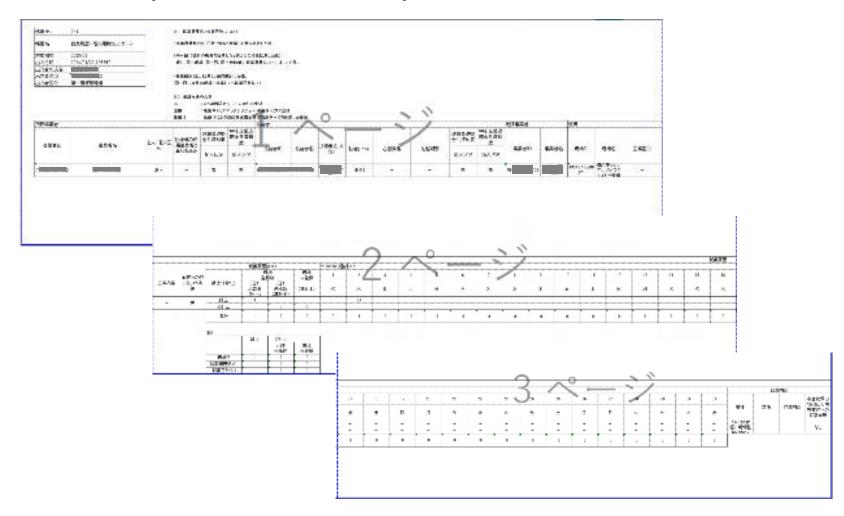
- - -

TERRITOR.

# -4「就業履歴月別カレンダー(E)」の出力手順



• 就業履歴一覧(月別カレンダー)



### 元請が毎月実施する項目:就業履歴の確認



● 適正な運用の確認は月に1度で良いので就業履歴を確認する

● 毎月の災防協に併せて確認することでルーティーン化が図れる



### 活用の流れ



### 契約後

- 受注者は、カードリーダー等の設置場所、設置期間、計測日を打合 せ簿に記載し発注者に提出
- 計測日は工期に応じて、適切に設定すること



### 施工中

- 現場で活用&計測日ごとに実施内容が分かる資料を監督職員に提示
- 災害防止協議会等において、下請企業等にCCUSの適正な運用と意 識啓発を図る



### 完成時

- 受注者は工事完成時に<u>すべての基準</u>の達成状況が確認できる資料を 提出(計測日総括表)・提示(就業履歴月別カレンダー)
- 発注者は達成状況を確認し、工事成績評定で加点

## よくある問合せ



実作業は1ヶ月もないが、CCUSを活用できるかぜひ活用してください。計測日の設定については、着手日~完成:6ヶ月未満の場合で適宜設定してください。

計測日については、概ね中間を初回、以降概ね3ヶ月に1回とあるが、正確に設定する必要があるかあくまで概ねですので、工程に応じて柔軟に設定してください。要領に記載してある設定方法で決まる回数より少ない計測日にはしないこと

**カードリーダー等を購入する必要があるのか** 必ずしも購入する必要はありません。リースでも問題ありま せん。

## よくある問合せ



システムに計測日の登録は必要か 発注者支援機能は利用しませんので、システムに計測日の登録は 必要ありません。

下請のない工事でも活用していいのか 下請けのない、元請工事のみでも、活用可能です。

計測日は、多く設定してもいいのか 多く設定するのは、何も問題ありません。